

グラウンド ホームカミング

一般社団法人彩志義塾
創立10周年



日付：2023年11月11日（土）

場所：港区赤坂 2-3-5 赤坂スターゲートプラザ B1F

一般社団法人彩志義塾および立志塾はこのたび、設立から10周年を迎えました。コロナ禍での中止が余儀なくされた立志塾ですが、現在第16期を開催しています。これまでの皆様のご厚誼に感謝の意を表し、10周年記念の「グランド・ホームカミング」を開催いたしました。

この特別なイベントには、過去ご登壇いただいたロールモデルの皆様、第一期から現在にいたるまでの卒塾生、関係各者、総勢40名の方々にお集まりいただきました。数年ぶりにお会いする方も多く、歓談と共に今後の目標について語り合いました。

開会挨拶 16:30



グランドホームカミングは代表理事の古川裕倫による開会挨拶から始まりました。古川は関係者全員に感謝の気持ちと、女性活躍推進へ引き続き貢献する決意を述べました。緊張で顔がこわばっているように見えますが、実は10年間変わらず応援してくださる皆様のお顔を拝見して、涙が出そうになるのを我慢していたのです。



記念講演 16:40

(役員ラウンドテーブル)

株式会社東急ストア常務執行役員の高橋真樹子様にご登壇いただきました。通常、立志塾ではゲストスピーカーに90分のご講演をいただきますが、特別イベントということで、高橋様には15分でご自身の女性役員になるまでの歴史や信念、塾生へのメッセージをいただきました。たくさんの方々の前で緊張しながらも16期生が手を上げて質問してくれました。



関係者挨拶 17:00

過去、立志塾にご登壇いただいた方や関係者の方々にお祝いのお言葉をいただきました。



株式会社永翔代表取締役の若谷祥子様。若谷様は立志塾の姉妹塾である「みちのく立志塾」でロールモデルとしてご活躍されています。みちのく立志塾塾長の中村夢美子さまからの祝辞を読み上げていただきました。東北でも立志塾プログラムを通して女性の背中を押せていることに感動です。いつか東京と東北の立志塾でイベントを行うことが新しい目標となりました。

第一稀元素化学工業株式会社および情報技術開発株式会社の社外取締役の飛田尚美様。飛田様には立志塾のプログラム作りからお力添えいただき、現在のプログラムの基礎を作っていただきました。たくさんの方が飛田様をメンターとして目標にしています。そんな飛田様に「改めて立志塾の影響を感じた」とお言葉をいただきました。





三和ホールディングス株式会社社外取締役の石村弘子様。

石村様には第1期立志塾から現在の16期までかさざらご登壇いただいています。立志塾終わりの懇親会にも欠かさずご参加いただいています。まさに10年を共に歩んできてくださったロールモデルです。

株式会社ホリプロ・グループ・ホールディングス取締役の鈴木基之様。

鈴木様には古川がホリプロ時代からお世話になり、過去、立志塾にも講師としてご登壇いただいています。大阪池田市にまで駆けつけて、自転車で一緒に選挙活動をしてくださった鈴木様。佐藤一斎の言志四録を引用し、立志塾のこれからのエールをいただきました。



日本駐車場開発株式会社取締役の窪田礼子様。

窪田様は立志塾第4期の卒塾生です。女性管理職や幹部の育成を目的とする立志塾としては、窪田様のご活躍は嬉しい限りです。窪田様に続く塾生を輩出できるよう、現在では立志塾にロールモデルとしてご登壇いただいています。

卒塾生報告会 17:50

卒塾生の中から、第1期の小池彩加様、第15期の青木美香様に立志塾で学んだこと、現在のご活躍を語っていただきました。「立志塾の学びを活かして頑張っています」と力強いお言葉をいただき、拍手喝采でグラントホームカミング前半を終了しました。



交流会 18:00

ここからは食事やお酒を飲みながらの交流会です。
古川の乾杯の音頭から始まり、皆さんそれぞれ交流を楽しまれました。



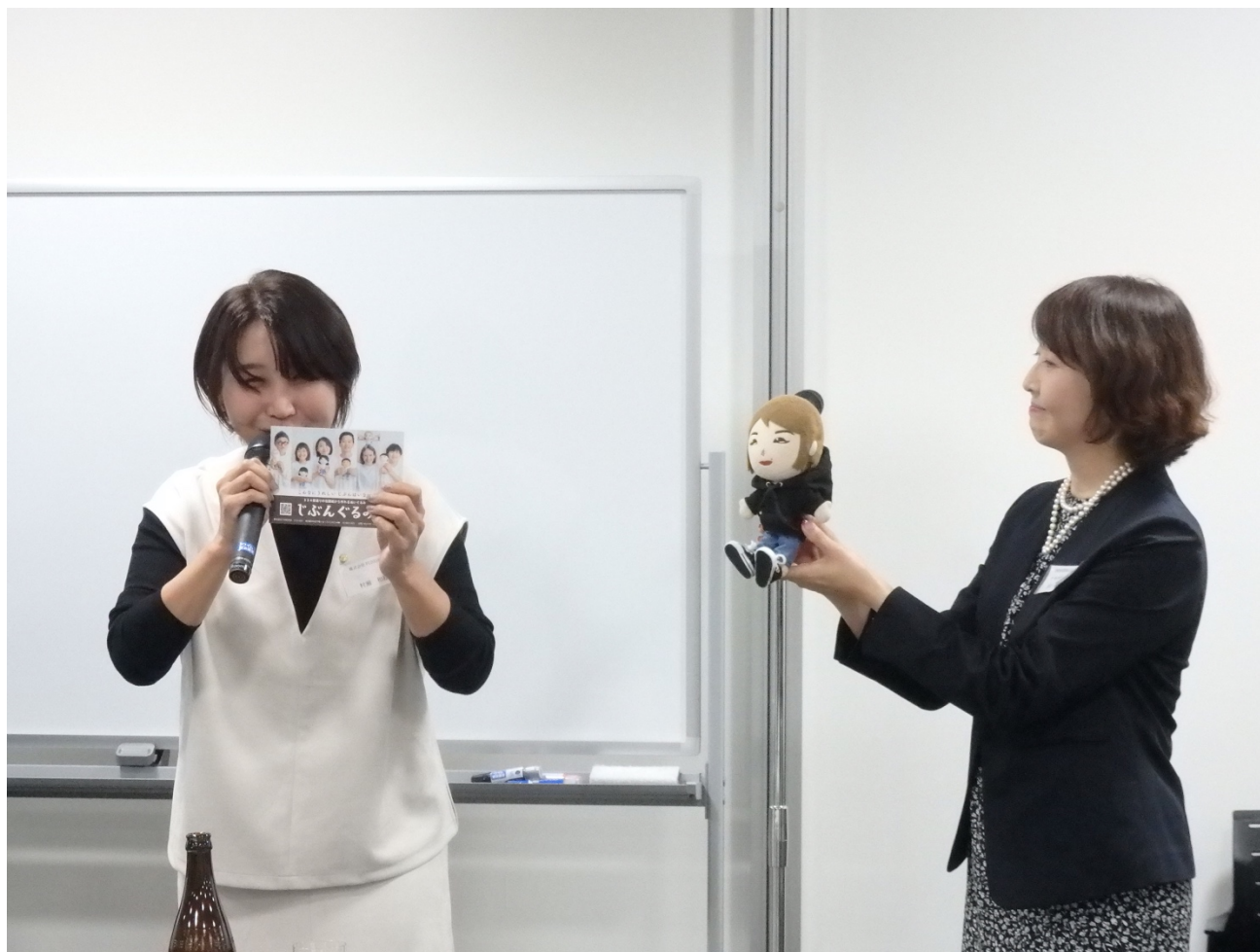
ご覧ください。開会スピーチの緊張から解放されてリラックスした表情です。
胸には議員バッジと池田市マスコットのウオンバットがついています。



皆さん素敵な笑顔です



株式会社 FUNDARD の代表取締役 村瀬和絵様が「じぶんぐるみ」をご紹介くださいました。村瀬様は、元バンダイの執行役員で、立志塾にも何度もご登壇いただきました。



↑ 商品説明をする村瀬様（左）と、じぶんぐるみを掲げる飛田様（右）



「じぶんぐるみ」とは、自分自身や大切な人の顔に似せたぬいぐるみを作れる商品です。

閉会宣言 19:30

楽しい時間はあっという間に過ぎていき、閉会の時間となりました。

古川から最後に改めてみなさまに感謝の言葉を述べ、歓喜と感謝の気持ちで満ち溢れた素晴らしいグランドホームカミングとなりました。



最後にみんなで集合写真を撮パシャリ。



古川から皆様へのメッセージ

立志塾を運営する一般社団法人彩志義塾の10周年記念にご参集いただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで素晴らしい会になり、心から感謝しております。

塾生の皆さん、ロールモデルの皆様、講師の皆様、そして塾生を派遣いただいた企業の皆様、誠にありがとうございます。

安倍政権の頃に、「2020年には女性管理職比率を30%にする」との目標がありましたが、夢のまた夢でした。

ジェンダーギャップランキングでも世界150カ国で120位あたりをウロウロ。日本以下の国を見ると主に宗教的なことで女性活躍が進まない国ばかり。最下位は、女性教育に超ネガティブなアフガニスタンです。

2008年に始めた世田谷ビジネス塾という無料読書会（今も続いていますヨ。姉妹塾の石橋読書会も5年になりました）などでこの現実に気づき、それなら行動に移そうと思ったのが、立志塾のきっかけです。

どんなプログラムがいいか、どう運営すればいいか、誰に相談にいったらいいのか、五里霧中でしたが、元バンダイの飛田様や多くの皆様にご相談して、今の形になりました。

途中で私が弱音を吐くと、仲間や元の会社の同僚から叱咤激励を受けました。感謝しかありません。これからももっと進歩させ、少しでも世のお役に立ちたいと思います。

岩手県盛岡で「みちのく立志塾」としてこのプログラムを拡大していただいたことは、望外の喜びでした。ありがとうございます。

ダイバーシティ、中でも女性活躍推進が日本で日の目を見る時を信じて、継続したいと考えますので、どうぞご支援よろしくお願い申し上げます。